allcinema

真夜中の恋愛論（1990）

NUIT D'ETE EN VILLE
ONE SUMMER NIGHT IN TOWN

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 85分
初公開日 1991/11/16
公開情報 コムストック

【キャッチコピー】
目覚めたら、恋のはじまり…

【解説】
Ｊ＝Ｈ・オングラードが、ジャン＝ルイの娘、Ｍ・トランティニャンとほとんど全篇素裸でいながらエッチもせず、囁きの夜をすごす題名通りの映画。「読書する女」でも、いかにもフランス的な愛の論理学を理屈っぽく展開したＭ・ドヴィルが、都会の夏の夜に出逢った男と女が、アパルトマンの一室という密室状況で語らい戯れ、最後に結ばれ、安らかな夜明けを迎えるまでを綴る。とにかく無駄に喋ってる二人で、国民性の違いはあれ、うんざりさせられる。感情の綱引き、心理ゲーム……いろいろ形容の仕方はあろうが、そんな高みまでいっていないやりとりをダラダラ見せるので、短い尺数も永遠に感じられる。おまけに公開当時の日本では暗がりのヘアにボカシがかかり、恋人になりかけの男女のごく自然な交感を描くはずの本作の興趣を思いっきり削いだ。

【クレジット】

監督	ミシェル・ドヴィル	Michel Deville
製作	ロザリンド・ドヴィル	Rosalinde Deville
脚本	ロザリンド・ドヴィル	Rosalinde Deville
撮影	ベルナール・リュティック	Bernard Lutic
音楽	カミーユ・サン＝サーンス	Camille Saint-Saens
出演	ジャン＝ユーグ・アングラード	Jean-Hugues Anglade
	マリー・トランティニャン	Marie Trintignant

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.